

Maxwell[®] RSC ccfDNA Plasma Kit (カタログ番号 AS1480) 簡易マニュアル

ご用意いただくもの

- ピペットマン (P-200, P-1000)とそれらのチップ

血漿の調製

1. 全血を2,000×gで10分間の遠心を行う。ピペットを使って、血漿の画分を注意深く別容器に移す。
2. 血球成分の混入を防ぐため、同様の手順をもう一度行う。
3. 血漿は1週間まで冷蔵保存できます。長期の場合、冷凍保存です。凍結/融解は避けてください。

~1ml 血漿からの手順

カートリッジの準備と精製工程

4. 検体数分のカートリッジをMaxwell[®] RSC/CSC Deck Trayに立て、順にアルミシールを剥がす。
カートリッジの両端がカチッというまで、しっかりとセットする
注意：サンプル数が16より少ない場合には、Maxwell[®] RSC/CSC Deck Trayの中央部分をお使いください。
5. 同数のElution Tubeをセットし、60μlのElution Bufferを加える。
Elution Tubeのフタは絶対に閉めないでください。
6. プランジャーをカートリッジのウエル8に置く。
7. 200~1,000μlの血漿をカートリッジのウエル1に添加する。
ウエル1は最も大きなウエルです。Elution Tubeからは最も遠い位置にあります。



8. Maxwell RSC Instrumentを起動し、Startから『ccf DNA Plasma/AS1480』を選択する。
9. Maxwell[®] RSC/CSC Deck Trayを、Maxwell[®] RSC本体にセットし、精製操作をスタートする。

技術的なお問合せは：

e-mail: prometec@jp.promega.com • Tel: 03-3669-7980 • Fax: 03-3669-7982

精製終了後の操作

1. Maxwell RSC® Instrumentのドアを開け、Elution Tubeのフタを閉める。
2. Maxwell® RSC/CSC Deck Trayを取り出し、Elution Tubeを適切に保管する。
3. Maxwell RSC® Instrumentのドアを閉める。カートリッジとプランジャーを廃棄する。

備考： 精製した ccDNA は、チューブ壁面への核酸の吸着を低減することができるチューブ(例：エッペンドルフ社製 DNA LoBind Tube)に保存することをお勧めします。